

GARAGE DESIGN TOYBOXのショールームOPEN.

オーダーメイドでガレージを発注できるTOYBOX。
本誌でも数件、事例紹介してきたが、
ついに香川県本社に展示場、および設計事務所がオープン。
空間デザイン事業部として今後も事業に取り組んでいく。
photo&text/Jun-ISHIHARA(石原 淳)



GARAGE DESIGN
TOYBOX



既存のバイクガレージはない意匠性と機能性を備えたTOYBOX CONTAINERも同時に展示。リフトアップステージの実力を試すことも可能。

**GARAGE DESIGN
TOY BOX**
香川県高松市一宮町1508-1
phone/087-816-1811
http://www.yokoi-kk.co.jp

10、11日とFM 香川のパーソナリティ
蒲野さんを迎えて、GarageLife 編集
長・石原とTOYBOX 開発者・櫻井氏
の3人でガレージトークを繰り広げた。



今回、ガレージに飾られたクルマはロータスのエキシージ。クルマ好きのスタッフが対応してくれるのも、ガレージトークにはプラスに作用する。



ウッドデッキの右端に用意された螺旋階段にアクセスすれば、TOYBOX のアッパーフロアに昇ることができる。子どもが安全に遊べたりするメリットなど多数。



まるでカフェのような展示場兼、設計事務所には土曜日、日曜日と家族連れが多く来場し、空間を楽しんでいた。キッズスペースも併設のため小さな子ども連れも安心だ。



開発したばかりのカーポートも展示。右のフィアットが開発者・櫻井氏の愛車。イタリアンデザイナーらしく、ラインが美しいクルマだ。



排気ダクトシステムEG WAYOUTの香川県の代理店も兼ねるTOYBOXにはシングルマフラーに合わせたEGAS-001を展示。

Showroom Concept

ショールームコンセプト

あたまの中には、ワクワクするような夢のカタチが存在する。

そこにある「空間」には、これからはまる理想のライフスタイルが待っている。

「空間」という真っ白なキャンバスにどんな夢を描こうか。

日々の生活の中にどんな彩りを添えようか。

「無から遊へのお手伝い」

敷地の形状や広さ、外的環境の配慮、外観や内装のデザイン、既設建築物との親和性、予算のバランスなど、今まで培われたノウハウをフルに活かし、お客様のあらゆる空間のプロデューサーとして、お客様が思い描く夢のカタチを、お客様と一緒に実現いたします。

TOYBOX
開発者・櫻井氏

2012年11月10日、香川県高松市にTOYBOXのショールームがオープンした。TOYBOXとは、株式会社ヨコイが展開するガレージのブランド名で土地の広さ、外観によってサイズ、形状、機能などをオーダーできるガレージユニット。今まで見本をなかなか展示することができなかったため、空間デザイン事業部を発足させ株式会社「ヨコイ」本社前にこの度、オープンさせた。

開発者であり、今回の事業部長を務める櫻井氏いわく、「カタログやWEBでしか見ることができなかったTOYBOXの実物を、見て、触って、感じることでより身近に感じてもらいます」と語る。確かに、ガレージは今まで展示物は非常に少ない世界にだけに、これからガレージを建てたい人には非常に参考になる見本となる。10、11日にはガレージトークというテーマで弊誌、編集長も参加させていただきオープニングイベントを行った。またSnap-onによる展示即売会も行われた。

2日間のイベントで伸べ300人近いファミリーが

来場。これからの時代、「ガレージは男性だけではなく、ファミリーで楽しむための空間」と新しいスタイルのガレージ提案を考えている櫻井氏。まさに、小さな子どもといっしょに来場した参加者が多かったのは印象的である。TOYBOXを建てたことで庭がなくなってしまうなどのマイナス要素を、螺旋階段で天井にアクセスさせることで有効活用するなどのデメリットを解消させたなど本来のユニットガレージとは差別化を図っていることがTOYBOXの特徴だ。また土地のサイズ、形状によりオーダーすることができるのも最大の魅力といえるだろう。

なお、今回櫻井氏が率いる空間デザイン事業部はガレージを中心とした外構提案をはじめ、住宅や店舗、看板やサインまで手掛けるという。今まで関東地方を中心に建ててきたTOYBOXを西日本地域にも広げるためにも、展示場の役割は非常に大きいといえる。世界でただ一つの本当に欲しかったガレージを手に入れるチャンス、それがオーダーできるガレージの最大の魅力だ。